

令和4年度第2回可児市多文化共生推進会議 議事要点録

1. 開催日時 令和5年3月15日(水)14時00分~15時30分

2. 開催場所 可児市多文化共生センター(フレビア)研修室

3. 出席者(15名)

(1) 委員

近藤 敦	坂江レアンドロユウキ	浜口 旭波	渡辺 武
兼松 香代美	各務 眞弓	奥村 幸彦	佐野 朝子
可児 整	眞野 純次	山田 久子	

(2) 事務局

人づくり課長	若尾 真理		
人権・国際係長	近藤 智子		
人権・国際係	加藤 エジソン	梅村 萌	

4. 内 容

- (1) 開会
- (2) 人づくり課長挨拶
- (3) 委員長挨拶
- (4) 議題
- (5) 意見交流
- (6) その他連絡

(4) 議題

1. 令和4年度可児市多文化共生推進計画進捗状況について(資料番号1・2・3)

事務局)資料1・2・3について説明。

委員長)ご質問や意見はありますか。

委員A)項目の22「外国籍労働者を雇用する企業等との連携」には「近隣高校を主な対象として開催する『可児の企業魅力発見フェア』において、外国籍労働者の雇用が可能な企業を紹介予定」と産業振興課が取り組んでいることについて書いてあるが、一般の方に向けて雇用の紹介はどのように行っているのか。

委員B)企業フェアについて保護者の参加を促す案内はしているが、日本語教室の生徒の保護者は参加していない。

委員A) 反応はどうか。

委員B) 直接、色々な職業の社員に話を聞くことが出来るので、ブースでの限られた時間ではあるが、参加者は興味を持ち話を聞いている。高校進学という目標値の先の就職の事を考えると、高校へ行くモチベーションとなる。

事務局) 産業フェアは外国籍市民というくくりはないので、どなたでも参加できる。雇用形態は派遣事業者に登録した人が多い。直接雇用しているところは少ない。

委員A) 意識調査の結果から、ここ3年で正社員の割合も増えているが、相談会フェアなどのおかげで増えたのではないかと思ったのだが。

事務局) そこまでは把握できていない。

委員A) 外国籍市民を雇用している企業が相談できる窓口はあるのか。雇用後に諸問題が起きた時、相談できる窓口はあるのか。

事務局) 国の労働局に相談することが多いと思う。市としての相談体制をとるのは中々難しい状況ではある。

委員長) 特定技能の方の就職先も今はあまり整備されていないため、日本ではトラブルも起きている。労働関係を市が行うのは難しいと思うが、今後はさらに整備されると良いと思う。大学ではインターンシップなどが行われているが、高校生にもあるのか。高校生を対象としたインターンシップも増加してくるのではないか。

委員C) コロナ禍で小学校の状況も変わってきたと思う。外国籍市民の子どもたち、項目13の「不登校・不登校児童生徒の実態把握と対応」についてだが、1月から2名受け入れたとある。実際に外国籍の児童生徒は相談に来るのは勇気がいることだと思う。実態把握などはそれぞれの小学校、中学校と市は連携や情報収集はあるのか。外国籍の生徒が多いところは生徒間での交流が多いと思うが、少ない学校での交流などはあるのか。

事務局) 教育委員会、学校教育課、ばら教室KANIは連携している。また、ばら教室KANIとフレビアは連携しており、三者間で応援を求めたりしている。

委員C) 同じく、項目13について、不登校傾向の対策相談に11件対応したと報告があるが、この後は学校へ行けているのか。

委員B) 受け入れる際には学校とケース会議を行っている。フレビアのコーディネーターも参加し、学校での対応が必要なのかフレビアの教室に通うのか相談している。保護

者に働きかけることが必要だ。この 11 件の相談は、学校からの相談もあるが、保護者からの相談もある。本人からの相談はめったにないが、補修の教室の際に受けたものもある。

委員 C) ここまで実施できていたら、計画以上でもよいのではないか。情報が入った点ですぐに対応できているので、評価以上もよいのではないか。

委員長) 資料 3 の全不登校児童生徒数に占める外国籍生徒の割合は、基準値 9.1 % に対して直近値は 10.2 % と増えているので、このような点も考慮すると計画通りでもよいのではないか。

委員 B) 必ずしも学校へ行くことがその生徒にとって良いことかは分かりませんが。

委員 C) 生徒の心の安定を図ることができればよいと思う。

委員 D) 子どもの教育における高校への進学率について、高校へ進学した生徒については、どのくらい卒業しているのかが心配。どこまで追跡しているのか。

委員 E) 中学校の卒業から高校進学までは学校教育課が把握しており、この 90.9 % はとても数値が高い。県全体で見ても上がって来ている。高校を辞めてしまったことまでは把握できていないが、退学したという話は聞く。今後は数値が把握できれば、フレビア、ばら教室 KANI、国際教室の連携に繋がるのかもしれない。

委員 A) 高校進学の面接指導もしているが、その中には日本語が不安な子もいる。折角高校進学しても退学してしまうともったいない。退学してしまった子のフォローも気になる。経済的な理由や精神的な理由もあるとは思うが。

委員 B) 高校進学支援教室について、毎年のゴールは高校進学を目標に指導しているが、高校へ進学するというのは親のサポートも必要である。受験資格があっても家庭の事情で働かなくてはいけない子もいる。フレビアのスタッフからも、このままの日本語能力で社会へ出たらやっていけるのか不安という相談もある。

## 2. 可児市外国籍市民意識調査について (資料番号 4・5)

事務局) 資料 1・2・3 について説明。

委員長) ご質問や意見はありますか。

委員 A) 仕事について、2014 年から 2022 年の間で、正社員や直接雇用がパーセンテージを見ると増えているのはとてもよいと思った。仕事の困りごとの中に給与が少ないという意見があるが、外国籍市民だから給与が減らされているということは

あり得るのだろうか。

委員長) 法的には国民と平等でないといけないのだが、実態は違う場合があるのかもしれない。

委員A) 自由意見の中でも給与や金銭面についても意見があるので、今後も課題だと思う。

委員長) 正社員が増えているのはなぜだろうか。

委員F) 最近土木作業や運送業などが増えている。もともと大企業で働いていた人が、請け負っている仕事で正社員になれる中小企業で正社員として雇用されている。大企業だと正社員での雇用が少ないので。

委員長) インターネットでのツールが広まっているが、何か日本語で伝えると翻訳してもらうという、キーパーソンの方がいて頼んで翻訳して発信しているのか。

委員 B) ホームページやアプリは翻訳機能がついているのでそのようなツールを使っているのではないか。

委員長) 多文化共生推進委員や他の団体の委員などの協力があれば、海外の情報もチェックできて、より良くなると思う。

委員 C) 自由意見はそれぞれに対してどこまで返していくのか。例えば駐車場の意見など、どこにあるのか知らないで意見として挙がっているのかなど思う。すぐに解決できるものであれば対処できると良いと思う。

事務局) これは無記名の意見ですので、広く意見をもらって、行政に反映していくので、すべてに回答するというのは難しい。

委員 C) 駐車場について例に挙げるが、広報紙などに載せることができればいいのではないかと。真面目な記事も良いが、楽しい記事も載せてみるのはどうか。かにさんくらぶに毎年多文化共生についての特集があるが、このように載せるのはどうか。

委員 B) 多言語情報誌にはスタッフが載せたほうがいいのかと思う記事は載せている。コロナ禍で情報発信について、継続して SNS やホームページでも情報発信しているが、情報のたれ流しになっているのではないかと、情報発信の難しさを感じている。

委員 A) 可児市に住む永住者や定住者が多いという新聞記事を見たが、団地の中の空き屋を安い値段で買って住んでもらい、空き家対策をするのはどうか。

委員 B) 今渡や土田地区に集住していたが、現在外国籍市民は色々な地区に住んでいる。

委員 D) 地域を結びつけるような人がいるとよいのではないかと思う。外国籍市民に何かしてもらおうということではなく、そこに住んでいる日本人が何かをするという計画はあるのだろうか。または橋渡しの役割や仕組みがあればいいのではないかと思う。

委員 B) 通訳ボランティアの養成について要請があったが、今年は、地区センターの職員と困りごとについてヒアリングした。通訳は限界があり、言葉ではないつながりも必要なのではないかということでイベントを行った。もちつき大会を行ったが、これも顔がみえる関係づくりをすることを目的に計画した。産後のお母さん方の調子が悪く、国に帰ったということ聞いている。日本人に対しても言えることだが、外国籍市民に対しても出産後のサポートの仕組み作りがあればいいのではないかと思う。

(5)

### 3. 意見交流

委員長) 意見交換ということで、自由に発言をお願いします。

委員長) 子育ての支援のサロンなどは何かありますか。

事務局) やっている。

委員長) 外国籍市民を対象としたサロンはあるか。

事務局) ターゲットを設定しては行っていない。

委員長) そのように外国籍市民を対象としたサロンもあるといいのではないか。

委員 G) 誰でも参加できるサロンがあることを、外国籍市民が知れると良い。

(6) その他

1. 可児市外国籍市民会議について

2. 第4期可児市多文化共生推進計画作成について

3. 次回の連絡

15時30分 閉会